

顔動作推定コンポーネント
(M241FaceMotion)
ユーザマニュアル

目次

1.	はじめに	4
2.	概要	4
3.	動作環境.....	4
4.	制限事項.....	4
5.	顔動作推定コンポーネントの使用方法.....	5
5.1.	コンポーネントの起動	5
5.2.	コンポーネントの実行	6

図・表目次

図 1	コンポーネント ディレクトリ構成図	5
図 2	コンポーネント接続図	6
図 3	コンポーネント動作例	6
表 1	動作環境	4
表 2	USB カメラ詳細	4

- 改訂履歴 -

Ver.	更新日	改訂内容	改訂
1.0	2008/03/31	初版	イーガー
2.0	2010/07/27	OpenRTM1.0.0 対応	イーガー

1. はじめに

本書は、RT ミドルウェア上で動作する RT コンポーネント「顔動作推定コンポーネント」の使い方について説明します。

2. 概要

顔動作推定コンポーネントは、入力された動画(連続した静止画)から人物の顔を検出し、顔の向き、視線、目口開閉度を出力します。

3. 動作環境

顔動作推定コンポーネントの動作環境を示します。

OS	Microsoft Windows XP SP 3
使用ライブラリ	・OpenRTM-aist-1.0.0-RELEASE ・VC++ 2008 Express Edition ・OKAO Vision ソフトウェアライブラリ (OkaoG33 Ver4.2 評価版) ・OpenCV2.0(テストコンポーネントにて使用)

表 1 動作環境

動作検証に使用した USB カメラを示します。

メーカー	Logicool
型番	Qcam Orbit AF

表 2 USB カメラ詳細

4. 制限事項

5. 顔動作推定コンポーネントの使用法

本章では、顔動作推定コンポーネントの使用法をテストコンポーネントを使って示します。

5.1. コンポーネントの起動

各コンポーネントの起動方法を説明します。なお、あらかじめ PC に USB カメラを接続しておいてください。

1) コンポーネントの起動準備

各コンポーネントおよびライブラリを『図1 コンポーネント ディレクトリ構成図』のように配置し、各コンポーネントは、【任意のディレクトリ】から起動してください。

【任意のディレクトリ】	
└ M241FaceMotionComp	顔動作推定コンポーネント
└ M241FaceMotionViewComp	顔動作推定結果出力コンポーネント
└ InUSBCameraComp	USB カメラ入力コンポーネント
└ M221TimeServerComp	時間管理コンポーネント
└ rtc.conf	コンフィグファイル
└ OkaoG33.dll	OKAO Vision ライブラリ
└ cv200.dll	OpenCV ライブラリ
└ cxcore200.dll	OpenCV ライブラリ
└ highgui200.dll	OpenCV ライブラリ

図 1 コンポーネント ディレクトリ構成図

2) 接続

RTSystemEditor を起動し、各コンポーネントを次の図のように接続します。

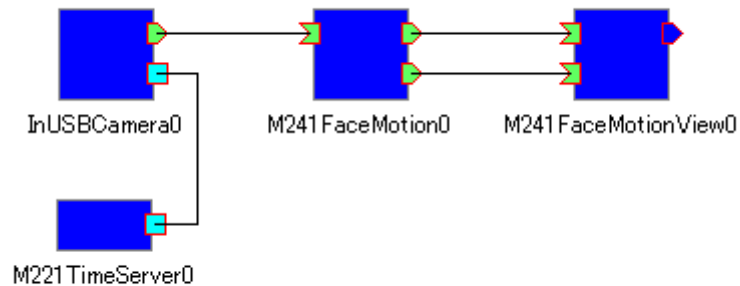


図 2 コンポーネント接続図

3) 起動・設定

RTSystemEditor の右クリックメニューから All Activate を選択します。

5.2. コンポーネントの実行

コンポーネントが実行されると、次の図のように、カメラによって取得された画像と検出された顔の特徴点情報が描画された画像が表示されます。



図 3 コンポーネント動作例

以上